



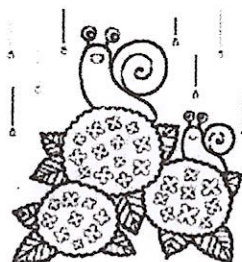
こちら、三中図書館 6月号

市川市立第三中学校図書館 2025.6.12

半袖で気持ちのいい季節になりましたね。

平年の6月7日より少し遅く、先日6月10日に梅雨入りしました。
長い梅雨の時期、外に出られない日には、ぜひ本を読んでください。

三中では、6月後半に校外学習が控えています。マザー牧場(1年)、
鎌倉(2年)、修学旅行(3年)と続いています。みなさん楽しんで
てください。



図書館のお知らせ

① 定期刊行物

ジュニアエラ(6月号)「昭和100年—子どもの暮らしはどう変わった?」

MOE(6月号)「私のぬいぐるみ」

アニメージュ(6月号)「呪術廻戦 懐玉・玉折」

② 新刊本 …6/12頃に2冊入荷します。新しい本のコーナーにあります。(右頁参照)
(7/3頃に24冊入荷予定)

六月の行事とくらし

水無月

夏の衣替え(1日) …衣服を夏物にかえる日です。

時の記念日(10日) …時間の大切さを考える日です。日本で初めて時計が作られた日とされる。

夏至(21日) …1年のうちで、昼が最も長く、夜が最も短くなる日です。二十四節気の一つ。

<梅雨> 6月半ばごろからひと月くらい続く、雨の多い時期のこと。 <五月雨> 梅雨の時期ふる雨の
梅の実の熟す時なので「梅」の字が使われます。 ことをいいます。

— 6月の草花 — あじさい、 くちなし、 どくだみ、 つゆ草

— 6月の旬 — 梅、 びわ、 さくらんぼ、 はも、 あなご、 さざえ、 あわび、 きす

『和の行事えほん』より)



6月4日

虫歯予防デー



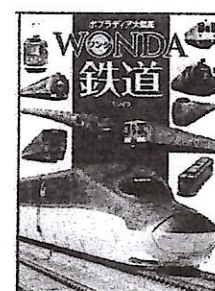
新着図書 紹介

★新刊 第二弾

「僕らは戦争を知らない
—世界中の不条理をなくすために
キミができること—」 Gakken (319)



「鉄道」
(ポプラディア大図鑑 WONDA)
ポプラ社 (536)



特集: 戦争を描いた本

2025年は戦後80年です。1945年に太平洋戦争が終わり、日本は80年間平和な時間を過ごし、
経済発展を遂げてきました。この節目の年を機に、歴史を振り返り、平和への思いを再確認し、未来をよ
り良いものにしていきたいですね。

この夏、戦後80年を迎えるにあたり、各地で行事・平和教育が開催され、TVなどでも特集が組まれ
ることでしょう。三中図書館にも『戦争を描いた本』があります。(探してみたら、多くの分野で興味深い
本がたくさんありました。) コーナーを設置しますので、興味がある人はぜひのぞいてみてください。

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」 汐見夏衛—タイムリープ、泣ける恋と戦いを描いた戦争小説
「永遠のゼロ」 百田尚樹—命を惜しんだ1人の兵士の人生に想いを馳せる、感動の戦争小説
「同志少女よ、敵を撃て」 逢坂冬馬—復讐に駆られた少女が兵士として戦場に赴く。2022年本屋大賞
「アウシュヴィッツの図書係」 A・G・イトゥルバー—本を支えに生き抜いた、少女の壮絶な半生を描いた
「卵をめぐる祖父の戦争」 デイヴィッド・ベニオ—戦争の愚かさを、若者の友情や冒険と共に描く
「シンドラーに救われた少年」 レオン・レイソン、 「アヴェマリアのヴァイオリン」 香川宜子
「ある晴れた夏の朝」 小手毬るい、 「八月の光」 朽木祥、 「白旗の少女」 比嘉富子 他
<絵本>

「父さんはどうしてヒトラーに投票したの?」 ティディエ・デニクス、 「風が吹くとき」 ブリックス
「エリカ 奇跡のいのち」 ルース・バンダー・シー、 「おとなになれなかった弟たちに」 米倉育加年 他
<その他> 「絵で読む広島原爆」 那須生幹(209)、 「パラオ 海底の英霊たち」 田中正文(210)
<母と子でみる> シリーズ「旅でみつめた戦争と平和」「反戦平和に生きた人びと」(210) 他

コンクール情報 <千葉県課題図書(令和7年度・第49回)> (主催)千葉日報社

「アナタノキモチ」(安田夏菜)

「カムイの大地 北海道と松浦武四郎」(泉田もと)

「彼の名はウォルター」(エミリー・ロッダ)

「見えない壁だって、越えられる。クライマー小林浩一郎の挑戦」(高橋うらら)

「森と、母と、わたしの一週間」(八束澄子)

「リックとあいまいな境界線」(アレックス・ジーノ)

※千葉県課題図書 読書感想文コンクール実施要項、図書館にあります。(応募×切 9/26必着)